

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年9月30日
【計算期間】	第6期中（自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
【ファンド名】	ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラストー DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型） （Brionglord Bridge Unit Trust - DMS Target Maturity Setting Fund 2103（Investing in Goldman Sachs Corporate Bonds））
【発行者名】	ウェイストーン・マネジメント・カンパニー（IE）リミテッド （Waystone Management Company（IE）Limited）
【代表者の役職氏名】	取締役 キース・ヘイズリー （Keith Hazley, Director）
【本店の所在の場所】	アイルランド、ダブリン4、ボールズブリッジ、シェルボーン・ロード35 （35 Shelbourne Road, Ballsbridge, Dublin 4, Ireland）
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 大 西 信 治
【代理人の住所又は所在地】	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング 森・濱田松本法律事務所外国法共同事業
【事務連絡者氏名】	弁護士 大 西 信 治
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号 丸の内パークビルディング 森・濱田松本法律事務所外国法共同事業
【電話番号】	03（6212）8316
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【ファンドの運用状況】

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト－DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）（以下「ファンド」といいます。）の運用状況は、以下のとおりです。

（１）【投資状況】

資産別および地域別の投資状況

（2026年6月末日現在）

資産の種類	国／地域	時価合計 (米ドル)	投資比率 (%)
債券	ケイマン諸島	70,417,695	101.08
現金、預金およびその他の資産（負債控除後）		－753,096	－1.08
合計 (純資産価額)		69,664,599 (約11,313百万円)	100.00

（注１）投資比率とは、ファンドの純資産価額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（注２）アメリカ合衆国ドル（以下「米ドル」といいます。）およびオーストラリア・ドル（以下「豪ドル」といいます。）の円貨換算は、2026年6月30日における株式会社三菱ＵＦＪ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（１米ドル＝162.39円および１豪ドル＝111.56円）によります。以下同じです。

（注３）ファンドは、アイルランドの法律に基づいて設定されていますが、米ドル建て受益証券は米ドル建て、および豪ドル建て受益証券は豪ドル建てのため、本書の金額表示は、別段の記載がない限り、それぞれ米ドルまたは豪ドルのいずれかをもって行います。

（注４）本書の中で金額および比率を表示する場合、四捨五入してあります。したがって、合計の数字が一致しない場合があります。また、円貨への換算は、本書の中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。したがって、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もあります。

(2) 【運用実績】

① 【純資産の推移】

2026年6月末日までの1年間における各月末の純資産の推移は次のとおりです。

	(ファンド) 純資産価額		(米ドル建て受益証券) 1口当たり純資産価格		(豪ドル建て受益証券) 1口当たり純資産価格	
	米ドル	百万円	米ドル	円	豪ドル	円
2025年7月末日	75,000,564	12,179	7.91	1,285	7.79	869
8月末日	75,588,410	12,275	8.01	1,301	7.82	872
9月末日	76,120,985	12,361	8.09	1,314	7.84	875
10月末日	75,757,441	12,302	8.10	1,315	7.84	875
11月末日	75,601,670	12,277	8.16	1,325	7.76	866
12月末日	75,596,018	12,276	8.18	1,328	7.74	863
2026年1月末日	73,969,554	12,012	8.16	1,325	7.75	865
2月末日	74,584,116	12,112	8.27	1,343	7.80	870
3月末日	72,384,757	11,755	8.12	1,319	7.62	850
4月末日	72,417,016	11,760	8.16	1,325	7.70	859
5月末日	70,305,220	11,417	8.18	1,328	7.86	877
6月末日	69,664,599	11,313	8.16	1,325	7.90	881

② 【分配の推移】

該当事項はありません。

③ 【収益率の推移】

<米ドル建て受益証券>

期間	収益率 (%) (注)
2025年7月1日～2026年6月末日	3.68

<豪ドル建て受益証券>

期間	収益率 (%) (注)
2025年7月1日～2026年6月末日	1.80

(注) 収益率 (%) = $100 \times (a - b) / b$

a = 2026年6月末日現在の1口当たり純資産価格（当該期間の分配金の合計額を加えた額）

b = 2025年6月末日現在の1口当たり純資産価格（分配落ちの額）

２【販売及び買戻しの実績】

2026年6月末日までの1年間における販売および買戻しの実績ならびに2026年6月末日現在の発行済口数は次のとおりです。

<米ドル建て受益証券>

販売口数	買戻口数	発行済口数
0 (0)	1,043,626 (1,043,626)	7,861,839 (7,861,839)

<豪ドル建て受益証券>

販売口数	買戻口数	発行済口数
0 (0)	97,445 (97,445)	1,009,771 (1,009,771)

（注）（ ）内の数字は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。

3【ファンドの経理状況】

- a. ファンドの日本語の中間財務書類は、英国およびアイルランドにおける法令に準拠して作成された原文の中間財務書類を翻訳したものです。これは「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第328条第5項ただし書の規定の適用によるものです。
- b. ファンドの原文の中間財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいいます。）の監査を受けていません。
- c. ファンドの原文の中間財務書類は、ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラストおよびすべてのサブ・ファンドにつき一括して作成されています。本書において日本語の作成にあたっては、関係するサブ・ファンド（DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型））に関連する部分のみを翻訳しています。ただし、「財務書類に対する注記」については、全文を記載しています。
- d. ファンドの原文の中間財務書類は、米ドルで表示されています。日本語の中間財務書類には、主要な金額について円貨換算が併記されています。日本円による金額は、2026年6月30日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル＝162.39円）で換算されています。なお、千円未満の金額は四捨五入されています。

（１）【資産及び負債の状況】

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト

財政状態計算書

2026年6月30日現在

DMS償還時目標設定型ファンド2103
(ゴールドマン・サックス社債投資型)

2026年6月30日現在

注記

米ドル

千円

流動資産

損益を通じて公正価値で

測定する金融資産

2,11

トータル・リターン・バスケット・スワップ

—

—

パフォーマンス・リンク債

70,417,695

11,435,129

先渡為替契約に係る未実現評価益

—

—

現金預金

3

28,465

4,622

投資有価証券売却未収金

55,833

9,067

ファンド受益証券販売未収金

—

—

流動資産合計

70,501,993

11,448,819

資本

受益者に帰属する純資産

69,664,599

11,312,834

資本合計

16

69,664,599

11,312,834

流動負債

損益を通じて公正価値で測定する金融負債

先渡為替契約に係る未実現評価損

—

—

当座借越

3

205

33

未払販売報酬

5

57,985

9,416

未払管理報酬

5

—

—

受益証券買戻未払金

8

55,924

9,081

その他の未払金

4

723,280

117,453

流動負債合計

837,394

135,984

資本および流動負債合計

70,501,993

11,448,819

添付の注記は当財務書類の一部である。

DMS償還時目標設定型ファンド2103

（ゴールドマン・サックス社債投資型）

		米ドル建て受益証券		豪ドル建て受益証券	
		米ドル	千円	米ドル	千円
発行済受益証券数	8	7,861,839口		1,009,771口	
受益証券クラス					
純資産価額		64,139,245	10,415,572	5,525,354	897,262
受益証券１口当たり純資産価格		8.158	1,325円	5.472	889円

添付の注記は当財務書類の一部である。

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト

財政状態計算書

2025年12月31日現在

DMS償還時目標設定型ファンド2103
(ゴールドマン・サックス社債投資型)

2025年12月31日現在

注記

米ドル

千円

流動資産

損益を通じて公正価値で測定する金融資産

2,11

トータル・リターン・バスケット・スワップ

-

-

パフォーマンス・リンク債

76,385,989

12,404,321

先渡為替契約に係る未実現評価益

-

-

現金預金

3

8,358

1,357

投資有価証券売却未収金

58,495

9,499

ファンド受益証券販売未収金

-

-

その他の未収金

-

-

流動資産合計

76,452,842

12,415,177

資本

受益者に帰属する純資産

75,596,018

12,276,037

資本合計

16

75,596,018

12,276,037

流動負債

損益を通じて公正価値で測定する金融負債

先渡為替契約に係る未実現評価損

-

-

当座借越

3

7,303

1,186

未払販売報酬

5

29,276

4,754

未払償還費用

-

-

未払管理報酬

5

11,988

1,947

受益証券買戻未払金

8

58,461

9,493

その他の未払金

4

749,796

121,759

流動負債合計

856,824

139,140

資本および流動負債合計

76,452,842

12,415,177

添付の注記は当財務書類の一部である。

DMS償還時目標設定型ファンド2103
（ゴールドマン・サックス社債投資型）

2025年12月31日現在

		米ドル建て受益証券		豪ドル建て受益証券	
		米ドル	千円	米ドル	千円
発行済受益証券数	8	8,553,400口		1,088,073口	
受益証券クラス					
純資産価額		69,951,270	11,359,387	5,644,748	916,651
受益証券１口当たり純資産価格		8.178	1,328円	5.188	842円

添付の注記は当財務書類の一部である。

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト

包括利益計算書

2026年６月30日に終了した会計期間

	注記	DMS償還時目標設定型ファンド2103 (ゴールドマン・サックス社債投資型)	
		2026年６月30日に終了した会計期間 米ドル	千円
収益			
受取利息		877	142
損益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純利益	2	351,868	57,140
純収益合計		352,745	57,282
費用			
販売報酬	5	(190,918)	(31,003)
管理報酬	5,13	—	—
その他の費用	10	(16,591)	(2,694)
運用費用合計		(207,509)	(33,697)
財務費用および税引前純運用利益		145,236	23,585
財務費用			
受益者に対する分配金	9	—	—
純運用利益		145,236	23,585
包括利益合計		145,236	23,585

収益および費用は、専ら継続運用から生じた。

包括利益計算書に表示された以外に、計上すべき損益はない。

添付の注記は当財務書類の一部である。

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト

包括利益計算書

2025年6月30日に終了した会計期間

	注記	DMS償還時目標設定型ファンド2103 (ゴールドマン・サックス社債投資型)	
		2025年6月30日に終了した会計期間 米ドル	千円
収益			
受取利息		1,316	214
その他の収益		—	—
損益を通じて公正価値で測定する 金融資産の純利益	2	3,692,863	599,684
純収益合計		3,694,179	599,898
費用			
販売報酬	5	(192,966)	(31,336)
管理報酬	5,13	—	—
償還費用引当金*		—	—
その他の費用	10	(40,003)	(6,496)
運用費用合計		(232,969)	(37,832)
財務費用および税引前純運用利益		3,461,210	562,066
財務費用			
受益者に対する分配金	9	—	—
純運用利益		3,461,210	562,066
包括利益合計		3,461,210	562,066

* 該当ファンドの償還に際して発生する見積費用に対する引当金を表す。

DMS償還時目標設定型ファンド2020-07（ゴールドマン・サックス社債投資型）を除き、収益および費用は、専ら継続運用から生じた。

包括利益計算書に表示された以外に、計上すべき損益はない。

添付の注記は当財務書類の一部である。

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト

資本変動計算書

2026年６月30日に終了した会計期間

DMS償還時目標設定型ファンド2103
(ゴールドマン・サックス社債投資型)

2026年６月30日に終了した会計期間

米ドル

千円

受益者に帰属する期首純資産	75,596,018	12,276,037
受益証券発行受取額	—	—
受益証券買戻支払額	(6,076,655)	(986,788)
運用による受益者に帰属する純資産の純増加	145,236	23,585
受益者に帰属する期末純資産	69,664,599	11,312,834

添付の注記は当財務書類の一部である。

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト

資本変動計算書

2025年６月30日に終了した会計期間

DMS償還時目標設定型ファンド2103
(ゴールドマン・サックス社債投資型)

2025年６月30日に終了した会計期間

米ドル

千円

受益者に帰属する期首純資産	73,684,548	11,965,634
受益証券発行受取額	—	—
受益証券買戻支払額	(1,468,683)	(238,499)
運用による受益者に帰属する純資産の純増加	3,461,210	562,066
受益者に帰属する期末純資産	75,677,075	12,289,200

添付の注記は当財務書類の一部である。

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト

キャッシュ・フロー計算書

2026年6月30日に終了した会計期間

DMS償還時目標設定型ファンド2103

(ゴールドマン・サックス社債投資型)

2026年6月30日に終了した会計期間

米ドル

千円

営業活動によるキャッシュ・フロー

包括利益／（損失）合計の増加	145,236	23,585
営業活動による現金純額への純収益の調整：		
金融資産および金融負債に係る実現純為替差損	1,163,193	188,891
先渡為替契約に係る実現純損失	—	—
外貨換算に係る実現純（利益）	—	—
トータル・リターン・バスケット・スワップに係る 実現純（利益）	—	—
損益を通じて公正価値で測定する金融資産および 金融負債に係る未実現評価益／（評価損）の純変動	(1,515,061)	(246,031)
トータル・リターン・バスケット・スワップに係る 未実現評価益／（評価損）の純変動	—	—
先渡為替契約に係る未実現評価益／（評価損）の純変動	—	—
損益を通じて公正価値で測定する金融資産および金融負債の売 却／（購入）	6,320,162	1,026,331
受益者に対する分配金	—	—
投資有価証券売却未収金の減少	2,662	432
その他の未収金の減少	—	—
未払販売報酬の増加	28,709	4,662
未払管理報酬の（減少）／増加	(11,988)	(1,947)
その他の未払金の（減少）／増加	(26,516)	(4,306)
営業活動による／（からの）キャッシュ・フロー純額	6,106,397	991,618

財務活動によるキャッシュ・フロー

受益者に対する分配金	—	—
受益証券発行受取額	—	—
受益証券買戻支払額	(6,079,192)	(987,200)
財務活動（からの）／によるキャッシュ・フロー純額	(6,079,192)	(987,200)

現金および現金同等物の純増加／（減少）額	27,205	4,418
期首現在現金および現金同等物	1,055	171
期末現在現金および現金同等物	28,260	4,589

添付の注記は当財務書類の一部である。

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト

キャッシュ・フロー計算書

2025年6月30日に終了した会計期間

DMS償還時目標設定型ファンド2103

(ゴールドマン・サックス社債投資型)

2025年6月30日に終了した会計期間

米ドル

千円

営業活動によるキャッシュ・フロー

包括利益／（損失）合計の増加	3,461,210	562,066
営業活動による現金純額への純収益の調整：		
金融資産および金融負債に係る実現純為替差損	468,951	76,153
先渡為替契約に係る実現純（利益）	—	—
外貨換算に係る実現純損失	—	—
トータル・リターン・バスケット・スワップに係る実現純（利益）	—	—
損益を通じて公正価値で測定する金融資産および金融負債に係る未実現評価益／（評価損）の純変動	(4,161,814)	(675,837)
トータル・リターン・バスケット・スワップに係る未実現評価益／（評価損）の純変動	—	—
先渡為替契約に係る未実現評価益／（評価損）の純変動	—	—
損益を通じて公正価値で測定する金融資産および金融負債の売却	1,730,882	281,078
受益者に対する分配金	-	—
投資有価証券売却未収金の（増加）	(124,830)	(20,271)
その他の未収金の（増加）	(651)	(106)
未払販売報酬の（減少）	(35,622)	(5,785)
未払管理報酬の（減少）／増加	—	—
未払償還費用の増加*	—	—
その他の未払金の（減少）	(34,413)	(5,588)
営業活動によるキャッシュ・フロー純額	1,303,713	211,710

財務活動によるキャッシュ・フロー

受益者に対する分配金	—	—
受益証券発行受取額	—	—
受益証券買戻支払額	(1,356,455)	(220,275)
財務活動からのキャッシュ・フロー純額	(1,356,455)	(220,275)

現金および現金同等物の純（減少）／増加額	(52,742)	(8,565)
期首現在現金および現金同等物	104,398	16,953
期末現在現金および現金同等物	51,656	8,388

* 該当ファンドの償還に際して発生する見積費用に対する引当金を表す。

添付の注記は当財務書類の一部である。

[次へ](#)

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト

財務書類に対する注記

2026年6月30日に終了した会計期間

１．一般情報

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト（以下「トラスト」という。）は、1990年ユニットトラスト法（以下「法」という。）に基づき2020年6月3日付で管理会社と受託会社により組織されたアイルランドのアンブレラ型投資信託として設立された。トラストは、法に基づきユニットトラストとしてアイルランド中央銀行（以下「アイルランド中央銀行」という。）により認可されている。

トラストは、各々が1つ以上の受益証券クラスを有する異なるサブ・ファンド（以下それぞれ「ファンド」または総称して「サブ・ファンド」という。）で構成されるアンブレラ・ファンドである。各サブ・ファンドは、流動性が限定されたオープン・エンドのファンドまたはクローズド・エンドのファンドとして設定される。

2026年6月30日現在、トラストは、2本の運用中のサブ・ファンドで構成されていた。

	運用開始日
DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）	2021年3月30日
One-Day・プレミアム	2023年9月12日

DMS償還時目標設定型ファンド2020-07（ゴールドマン・サックス社債投資型）は、満期日到来後の2025年7月25日に償還した。

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）は、米ドル建て受益証券と豪ドル建て受益証券の2つの受益証券クラスを募集している。One-Day・プレミアムは、米ドルクラス受益証券（以下「米ドルクラス」という。）と米ドルクラス（毎月分配型）受益証券（以下「米ドルクラス（毎月分配型）」という。）および円ヘッジクラス受益証券（以下「円ヘッジクラス」という。）と、円ヘッジクラス（毎月分配型）受益証券（以下「円ヘッジクラス（毎月分配型）」という。）の4つの受益証券クラスを募集している。米ドルクラス（毎月分配型）受益証券および円ヘッジクラス（毎月分配型）受益証券は、受益者に分配金を支払うことを目指す。サブ・ファンドの機能通貨は米ドルであり、財務書類の注記2に詳述されている。

DMS償還時目標設定型ファンド2020-07（ゴールドマン・サックス社債投資型）は、信託期間約5年の単位型投資信託であった。信託期間とは、2020年7月28日の運用開始日からファンドの満期日（以下「満期日」という。）までの期間をいう。満期日は、ファンドの運用期間が満了した償還日である2025年7月25日であった。

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）は、信託期間約10年の単位型投資信託である。信託期間とは、2021年3月30日の運用開始日からファンドの満期日までの期間をいう。満期日とは、2031年3月31日または管理会社が決定し、受益者に通知する、ファンドの運用期間が満了し、かつ残存受益証券がすべて買い戻されるその他の日をいう。

One-Day・プレミアムは、信託期間約10年の追加型投資信託である。信託期間とは、2023年9月12日の運用開始日からファンドの満期日（以下「満期日」という。）までの期間をいう。満期日は2033年8月31日、または、管理会社が決定し、受益者に通知される、ファンドが償還され、残存するすべての受益証券が買い戻される日をいう。

２．重要な会計方針

サブ・ファンドが採用している重要な会計方針および見積技法は、以下のとおりである。

作成の基準

表示されている財務書類は、2026年6月30日に終了した会計期間の未監査要約財務書類である。財務書類は、財務報告基準第104号「中間財務報告」（以下「FRS104」という。）に準拠して作成されている。財務書類は、将来にわたって継続する前提（継続企業の前提）で作成されている。

要約財務書類は、2025年12月31日に終了した会計年度の年次報告書および財務報告基準第102号「連合王国およびアイルランド共和国において適用される財務報告基準」（以下「FRS102」という。）、アイルランドにおいて一般に認められている会計基準および1990年ユニット・トラスト法を含むアイルランド法令に準拠して作成された監査済財務書類とあわせて読まれるべきである。

財務書類の形式および一定の用語は、FRS102に記載されているものを採用している。そのため、オルタナティブ投資ファンド運用者（以下「AIFM」という。）の意見では、それらは投資信託としてのサブ・ファンド事業の性質をより適切に反映している。

FRS102に準拠した財務書類の作成は、財務書類における報告金額および付随する注記に影響を与える見積りおよび仮定を行うことを要求している。AIFMは、財務書類に使用されている見積りが合理的かつ慎重であると確信している。実際の結果は、これらの見積りと異なる可能性がある。公正価値の見積りに関する開示については、注記11を参照のこと。

投資方針

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）

その投資目的を達成するため、ファンドは、受益証券の発行手取金（からファンドの設立および受益証券の募集に関連する費用ならびにファンドの資産から支払われるその他の手数料および費用のための準備金を控除した金額）の全額を、ケイマン諸島所在の特別目的会社であるルミニスII・リミテッド（以下「発行体」という。）により発行される、パフォーマンス・リンク債（以下「本債券」という。）へ投資する。特別目的会社は、債券の発行等の事業を営むことを目的とした会社であり、一般的に資産の証券化や仕組債を発行する際に使用される。

本債券は、ファンドおよび各受益証券クラスに対して以下のエクスポージャーを提供する。

1. ゴールドマン・サックス・グループ・インク（以下「ゴールドマン・サックス社債発行体」という。）が発行する、関連する受益証券クラスの通貨建ての割引債券（以下「ゴールドマン・サックス社債」という。）のポートフォリオ（以下「安定運用部分」という。）に対するエクスポージャー
2. 特定の参照ファンドのバスケットの騰落率に連動するリターンを提供する合成ポートフォリオ（以下「積極運用部分」という。）に対するエクスポージャー

積極運用部分は、個別戦略を有するいくつかのファンド（以下「参照ファンド」という。）に、現金等を加え、バスケット化に必要な費用等を控除して構築されており、様々な市場環境において、安定的な超過収益の獲得を目指す。各参照ファンドのウェイトは、ファンドの運用開始後、各参照ファンドのリスク水準が等しくなるように決定される（以下「参照バスケット」という。）。

One-Day・プレミアム

ファンドは、その投資目的を達成するため、原則として受益証券の発行手取金（から費用を控除した金額）の全額を、スワップ契約（以下「スワップ契約」という。）に従ってゴールドマン・サックス・インターナショナル・バンク（以下「スワップ・カウンターパーティー」という。）との間で行われる一または複数のトータル・リターン・スワップ（以下、各々「トータル・リターン・スワップ」という。）へ投資する。

トータル・リターン・スワップは、ファンデッド型であり、ファンドに対して、参照戦略（2023年8月9日付の英文目論見書補遺に記載されている。）のエクスポージャーを提供する。ファンドのトータル・リターン・スワップに対するエクスポージャーは、申込日／買戻日において、(i)ファンドが申込請求を受領した場合には増加し、(ii)ファンドが買戻請求を受領した場合には減少する。ファンドのパフォーマンスは、参照戦略のパフォーマンスに連動する。

トータル・リターン・スワップの締結に加え、ファンドは、留保中の投資、投資家への金銭の返還またはファンドの運用過程で発生する可能性のある特定の継続的な報酬もしくは費用の支払に充てるために、現金を保有することがある。

ファンドはトータル・リターン・バスケット・スワップに関して担保を受け入れる場合がある。そのような担保は、所定の取引および特定のカウンターパーティーにとって適切な種類のものであり、現金または債券の形態とすることができる。2025年6月30日現在、ファンドが受け取った非現金担保の詳細については、当財務書類の別紙Ⅰを参照のこと。

投資運用会社は、円ヘッジクラス（毎月分配型）および円ヘッジクラスの投資者がファンドの機能通貨で達成されるリターンと実質的に同等のリターンを受け取ることができるように、円ヘッジクラス（毎月分配型）および円ヘッジクラスの為替エクスポージャーをヘッジすることを意図する。このような戦略を実行するために使用される金融商品は、ファンド全体の資産／負債となる。ただし、このような取引は、関連する円ヘッジクラス（毎月分配型）および円ヘッジクラスに明確に帰属し、関連する金融商品の損益およびコストはこれらのクラスのみが発生する。

投資有価証券の会計処理

投資取引は取引日ベースで記帳される。投資有価証券売却に係る実現損益は、先入先出法（以下「FIFO」という。）で計算される。

金融資産の購入日から売却日までの関連する外国為替の変動は、包括利益計算書の「損益を通じて公正価値で測定する金融資産の純利益」に計上される。

投資有価証券の評価

FRS102の初回適用時にその金融商品を計上する際に、報告事業体は、a) 基本的金融商品およびその他の金融商品に関するFRS102の全要件、b) IAS39「金融商品：認識」の規定の認識および測定ならびに基本的金融商品およびその他の金融商品に関するFRS102の開示要件のみ、またはc) 国際財務報告基準（以下「IFRS」という。）第9号「金融商品」の規定の認識および測定ならびに基本的金融商品およびその他の金融商品に関連するFRS102の開示要件のみ、のいずれかを適用することを求められる。

サブ・ファンドは、b) IAS39「金融商品：認識」の規定の認識および測定ならびに基本的金融商品およびその他の金融商品に関連するFRS102の開示要件のみの実施を選択している。

FRS102に従い、サブ・ファンドは、そのすべての投資有価証券を、損益を通じて公正価値で指定された金融資産または金融負債として分類した。投資有価証券は、当初、所定の対価の公正価値で認識され、当該商品の取引費用は、直接、包括利益計算書で認識される。投資有価証券は、その後、期末に公正価値で再評価される。投資有価証券の売買は、取引日（サブ・ファンドが資産の売買を約束する日）に認識される。

外国為替ヘッジは、特定のヘッジありクラスのために利用することができ、その費用ならびに関係債務および／または利益は、当該クラスの勘定にのみ計上される。したがって、ヘッジありクラスにかかる外国為替ヘッジに帰属する費用、所得、損益に起因するサブ・ファンドの純資産価額の増減は、関係するヘッジありクラスにのみ帰属する。

各サブ・ファンドの資産の価値は、各評価日につきトラストの最新の英文目論見書または関連補遺に開示されているとおり決定されるものとする。

先渡為替契約

One-Day・プレミアムは、ファンドの一部またはすべての有価証券に関連する通貨エクスポージャーをヘッジするため、または投資戦略の一環として、計画された有価証券の購入または売却の決済に関連して、先渡為替契約を締結することがある。先渡為替契約は、将来の日付に設定された価格で通貨を売買する2者間の契約である。先渡為替契約の公正価値は、外国為替レートの変動により変動する。先渡為替契約は日々値洗いされ、価値の変動は未実現損益としてファンドに計上される。先渡為替契約の開始時の評価額と決済時の評価額との差額に相当する実現損益は、通貨の受渡し時、または先渡為替契約が同じブローカーと別の先渡為替契約を締結することにより相殺される場合は、純損益の決済時に計上される。

デリバティブ商品

ある市場において取引されているデリバティブ商品（スワップ、金利先物取引その他の金融先物取引を含む。）は、関連する市場により決定された、評価日における当該市場の営業終了時点の決済価格で評価され

る。ただし、関連する市場において決済価格を値付けする慣行がない場合、または何らかの理由により決済価格を入手できない場合、かかる商品は、管理会社が慎重かつ誠実に見積もる予想換金価格で評価される。トータル・リターン・バスケット・スワップは、スワップの相手先から毎日提供される価格を用いて、調整なしで評価される。

相殺

金融資産および金融負債は、認識された金額を相殺する法的強制力のある権利が存在し、かつ純額で決済する、または資産の実現と負債の決済を同時に行う意図がある場合には、相殺され、純額が財政状態計算書に計上される。

2026年6月30日および2025年12月31日現在、財政状態計算書において相殺される金融資産および負債はない。

外国為替換算

機能通貨および表示通貨

各サブ・ファンドの機能通貨および表示通貨は米ドルである。米ドルは、各サブ・ファンドの主要な経済環境の通貨であるとみなされている。

取引および収支

サブ・ファンドの機能通貨以外の通貨で表示される資産および負債は、期末日の実勢為替レートで機能通貨に換算される。サブ・ファンドの機能通貨以外の通貨での取引は、取引日に実勢為替レートで機能通貨に換算される。外国為替取引の損益は、当期の実績を判断する際に包括利益計算書で認識される。発行による収入および受益証券の買戻し時の支払額は、取引日の実勢レートで換算される。

取引費用

損益を通じて公正価値で測定する金融資産および金融負債は、公正価値で認識される。取引費用は、包括利益計算書において費用化される。損益を通じて公正価値で測定する金融資産または金融負債の公正価値の変動から生じる利益および損失は、それらが生じた会計年度の包括利益計算書において表示される。

投資有価証券売却未収金／投資有価証券購入未払金

投資有価証券売却未収金／投資有価証券購入未払金は、財政状態計算書の日付現在、約定済であるがまだ受け渡されていない購入有価証券に対する未払金および売却有価証券に対する未収金を表す。

費用

費用は、発生主義で計上される。

受益証券１口当たり純資産価格

受益証券１口当たり純資産価格は、サブ・ファンドの純資産総額を発行済受益証券数で除して算出される。受益証券はすべて、この価格で発行され買戻される。

受益証券は、サブ・ファンドの純資産額の一部に相当する現金としていつでもサブ・ファンドに入れ戻されることができる。受益者がサブ・ファンドに受益証券を戻す旨の権利を行使した場合、受益証券は、期末日の買戻金額で計上される。

税制

現行法および慣行に従って、サブ・ファンドは、1997年租税統合法（改訂済）の第739条Bに定義される投資信託として適格性を有している。サブ・ファンドは、その収益またはキャピタル・ゲインに対してアイルランドの税金を課せられることがない。ただし、「課税事由」が発生した場合には、アイルランドの税金が課される。課税事由には、受益者への分配金支払い、または受益証券の換金、買戻し、償還、譲渡またはサブ・ファンドが受益証券を８年間以上保有した結果生じる、アイルランド税目的において処分するとみられる受益証券の消却が含まれる。

以下の受益者に関しては、課税事由のために税金は生じない。

- (i) (1997年租税統合法（改訂済）の第739条Dに定義される）アイルランド居住の免税投資家に関しては、必要な署名入り法定申告書がサブ・ファンドに提供されていなければならない。または、
- (ii) アイルランド非居住者および課税事由発生時に税法上アイルランドに通常居住していない受益者に関しては、それぞれの場合に、1997年租税統合法（改訂済）の２B表に従って必要な署名入り法定申告書がサブ・ファンドによって保持されなければならない。

サブ・ファンドが受領するキャピタル・ゲインおよび利息には、投資国において還付不能の源泉税が課せられることがある。

３．現金預金および当座借越

現金預金は、銀行への当座預金からなる。現金同等物は、容易に換金可能である流動性の高い短期投資であり、価値の変動について僅少なりリスクしか負わず、投資またはその他の目的ではなく短期のキャッシュ・コミットメントを果たすことを目的として保有されている。

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）

2026年６月30日

保有先：	米ドル
ブラウン・ブラザーズ・ハリマン	(205)
HSBCコンチネンタル・ヨーロッパ、パリ	3
オーストラリア・ニュージーランド銀行、ロンドン	28,462
	<u>28,260</u>

2025年12月31日

保有先：	米ドル
ブラウン・ブラザーズ・ハリマン	(7,303)
オーストラリア・ニュージーランド銀行、ロンドン	8,358
	<u>1,055</u>

One-Day・プレミアム

2026年6月30日

保有先：	米ドル
ブラウン・ブラザーズ・ハリマン	901
三井住友銀行、東京	246
三井住友信託銀行、ロンドン	527
スカンジナビスカ・エンスキルダ・バンケンAB、ストックホルム	5,396
シティバンク、ニューヨーク	140,120
	147,190

2025年12月31日

保有先：	米ドル
ブラウン・ブラザーズ・ハリマン	647
三井住友信託銀行、ロンドン	1,551
スカンジナビスカ・エンスキルダ・バンケンAB、ストックホルム	6,532
DBS銀行、シンガポール	228,005
	236,735

４．その他の未払金

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）

	2026年6月30日	2025年12月31日
	米ドル	米ドル
弁護士費用	360	-
固定運営費用	689,499	729,224
サービス費用	1,572	1,031
雑費	31,849	19,541
	723,280	749,796

One-Day・プレミアム

	2026年6月30日	2025年12月31日
	米ドル	米ドル
弁護士費用	19,381	11,032
登録費用	21,819	22,624
サービス費用	275	-
雑費	26,836	14,898
	68,311	48,554

５．報酬

各サブ・ファンドまたは各サブ・ファンドの異なる受益証券クラスに適用される管理会社および投資運用会社に支払われる報酬および費用は、関連する英文目論見書補遺で指定されている。

管理会社報酬および投資運用会社報酬

サブ・ファンドへの運用業務の提供に関して、管理会社は、スライド制で、サブ・ファンドの純資産価額の年率0.15%を上限とする管理報酬（以下「管理報酬」という。）を受領する。

DMS償還時目標設定型ファンド2020-07（ゴールドマン・サックス社債投資型）には年額125,000米ドルの最低管理報酬額が設けられた。DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）に

は年額125,000米ドルの最低管理報酬額が設けられ、One-Day・プレミアムには年額155,000米ドルの最低管理報酬額が設けられている。管理報酬は、各評価時点で発生し、管理報酬で賄えない管理会社の職務遂行に伴い発生した合理的かつ記載された立替費用とともに、毎月後払いされる。

管理会社は、投資運用会社、管理事務代行会社、受託会社および監査人（年次監査のみ）の報酬および費用を支払う責任を負う。2026年6月30日に終了した会計期間において、管理会社は、DMS償還時目標設定型ファンド2020-07（ゴールドマン・サックス社債投資型）について0米ドル（2025年6月30日：61,986米ドル）の報酬を獲得し、内0米ドル（2025年12月31日：0米ドル）が期末現在未払い、DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）について0米ドル（2025年6月30日：0米ドル）の報酬を獲得し、内0米ドル（2025年12月31日：11,988米ドル）が期末現在未払い、そしてOne-Day・プレミアムについて76,863米ドル（2025年6月30日：76,863米ドル）の報酬を獲得し、内38,644米ドル（2025年12月31日：25,904米ドル）が期末現在未払いであった。2026年6月30日に終了した会計期間において、DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）の管理報酬は、報酬支払メカニズムの変更により、61,987米ドルの管理報酬が前払費用勘定を通じて決済されたことから、0米ドルとなった。したがって、同額の管理報酬の放棄額61,987米ドルが計上され、当期の純額ベースの管理報酬は0米ドルとなった。

販売報酬

管理会社は、日本の法律に従い、管理会社から受益証券を購入し、日本の投資家（のみ）からの申込注文を完了する責任を負う、日本における販売会社として株式会社SMBC信託銀行（以下「販売会社」という。）を任命した。DMS償還時目標設定型ファンド2020-07（ゴールドマン・サックス社債投資型）には純資産価額の年率0.53%の販売報酬が、受益証券1口当たりベースで販売会社に支払われた。DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）には純資産価額の年率0.53%の販売報酬、One-Day・プレミアムには純資産価額の年率0.80%の販売報酬が、受益証券1口当たりベースで販売会社に支払われた。2026年6月30日に終了した会計期間において、発生した販売報酬は、DMS償還時目標設定型ファンド2020-07（ゴールドマン・サックス社債投資型）について0米ドル（2025年6月30日：194,232米ドル）であり、内0米ドル（2025年12月31日：0米ドル）が期末現在未払い、DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）について190,918米ドル（2025年6月30日：192,966米ドル）であり、内57,985米ドル（2025年12月31日：29,276米ドル）が期末現在未払い、そしてOne-Day・プレミアムについて162,734米ドル（2025年6月30日：172,446米ドル）であり、内60,278米ドル（2025年12月31日：25,637米ドル）が期末現在未払いであった。

管理事務代行会社報酬および受託会社報酬

管理事務代行会社および受託会社は、管理事務および受託業務の提供に対して各サブ・ファンドの純資産価額の割合として計算される報酬を受領する権利を有する。管理事務代行会社および受託会社の報酬は、管理会社が受領した管理報酬または関連する英文目論見書補遺で指定されている関連サブ・ファンドの資産から支払われる。

管理事務代行会社および受託会社の報酬および費用は、毎月後払いで支払われ、トラストのサブ・ファンドの純資産価額の最初の10億米ドルの部分については0.04%、次の15億米ドルについては0.035%および25億米ドル超については0.03%で計算される。管理事務代行会社および受託会社は、サブ・ファンドから、合理的であり、書面化された、立替費用を追加で受領する権利も有する。

代行協会員報酬

日本における代行協会員は、サブ・ファンドの純資産価額の年率0.01%に相当する代行協会員報酬を支払われる。代行協会員報酬は、日々発生し、毎月後払いされる。代行協会員は、サブ・ファンドに係るサービスを提供する際に負担した立替費用を受領する権利も有する。

設立および組成費用

サブ・ファンドに係る受益証券の当初募集に関連して発生する設立および組成費用（英文目論見書の起草、重要な契約の交渉および作成、英文目論見書および関係する販売用資料の印刷に関する費用ならびに専門アドバイザーの報酬および費用を含む。）は、DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）について125,000米ドル、One-Day・プレミアムについて165,000米ドルを超えないと予想される。

財務書類上の受益証券１口当たり純資産価格は、包括利益計算書に費用計上される設立費用で計算され、One-Day・プレミアムについて合計0米ドル（2025年６月30日：0米ドル）であった。受益証券保有者による取引のための受益証券１口当たり純資産価格を計算する目的上、設立費用は、ファンドの存続期間の最初の３年間で償却される。2026年６月30日に終了した会計期間において、One-Day・プレミアムについて14,079米ドル（2025年12月31日：60,139米ドル）が受益証券保有者の計算上償却されている。2026年６月30日に終了した会計期間において、DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）の設立費用は、すべて償却されている。

６．金融商品の相殺

サブ・ファンドは、財務書類の利用者が認識済の資産および負債について、ネットティング契約が財政状態に及ぼす影響または潜在的な影響を評価できるように、財政状態計算書に表示された資産および負債の相殺の影響を開示することが求められている。これらの認識済の資産および負債は、強制力のあるマスター・ネットティング契約または類似の契約の対象となるデリバティブ商品であるか、または相殺基準を満たすデリバティブ商品である。

財務報告上、サブ・ファンドは財政状態計算書のデリバティブ資産とデリバティブ負債を相殺しない。相殺できないが、特定の条件が発生した場合にマスター・ネットティング契約の条項により純額で決済される可能性のある金額および受入担保または差入担保は、以下の表に示されている。

One-Day・プレミアム

2026年６月30日

デリバティブ資産	マスター・ ネットティング 契約対象資産 米ドル	相殺 可能額 米ドル	差入 現金担保 米ドル	差入 証券担保 米ドル	資産 純額 米ドル
先渡為替契約	1,164	(1,164)	—	—	—
トータル・リターン・バスケット・スワップ	50,400,677	—	—	—	50,400,677
	50,401,841	(1,164)	—	—	50,400,677

デリバティブ負債	マスター・ ネットティング 契約対象負債 米ドル	相殺 可能額 米ドル	受入 現金担保 米ドル	受入 証券担保 米ドル	負債 純額 米ドル
先渡為替契約	77,774	(1,164)	—	—	76,610
	77,774	(1,164)	—	—	76,610

2025年12月31日

デリバティブ資産	マスター・ ネットティング 契約対象資産	相殺 可能額	差入 現金担保	差入 証券担保	資産 純額
----------	----------------------------	-----------	------------	------------	----------

	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
先渡為替契約	217	(217)	-	-	-
トータル・リターン・バスケット・スワップ	38,139,058	-	-	-	38,139,058
	38,139,275	(217)	-	-	38,139,058

デリバティブ負債	マスター・ ネットィング 契約対象負債 米ドル	相殺 可能額 米ドル	受入 現金担保 米ドル	受入 証券担保 米ドル	負債 純額 米ドル
先渡為替契約	7,544	(217)	-	-	7,327
	7,544	(217)	-	-	7,327

７．ソフト・コミッション協定

2026年6月30日に終了した会計期間中に、ソフト・コミッション協定は締結されなかった（2025年6月30日：なし）。

８．会計年度中の発行および買戻しの受益証券数

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）の当初申込期間において、以下の受益証券クラスが申込可能であった。

クラス	表示 通貨	受益証券 1口当たり 当初発行価格	最低当初 申込額	最低継続申込額／ 最低保有額	最低 買戻単位
米ドル建て 受益証券	米ドル	10米ドル	150,000米ドル	該当事項はない。	1口
豪ドル建て 受益証券	豪ドル	10豪ドル	200,000豪ドル	該当事項はない。	1口

投資者によるクラスへの申込みは、当該クラスの表示通貨で行われなければならない。買戻代金もまた、関連するクラスの表示通貨で支払われる。

当初申込期間の終了後、ファンドへの追加の申込みが受け入れられる予定はない。ただし、管理会社取締役は、その単独裁量により、いずれかの営業日に申込日の宣言を決定することができる。かかる状況において、ファンドの受益証券は、関連する申込日における受益証券1口当たり純資産価格（から費用・手数料を控除した金額）で申込可能であり、管理会社取締役は、該当する申込みの申込締切時間およびかかる申込みに関して決済が行われるべき日の詳細を確認する。

受益者は、関連する買戻締切時間までに買戻請求を提出することにより、いずれかの買戻日に係る買戻請求を提出することができる。受益証券は、関連する買戻日における関連する受益証券クラスの受益証券1口当たり純資産価格で買い戻される。受益者に対して支払われるべき買戻代金の総額は、米ドル建て受益証券の場合は0.01米ドル、豪ドル建て受益証券の場合は0.01豪ドル未満を切り捨てた金額とする。かかる端数処理による利益は、ファンドの勘定で留保される。受益証券1口の買戻価格を計算する目的において、受託会社および／または管理会社は、受益証券1口当たり純資産価格から、特定の買戻日における買戻請求を履行する資金を賄うために資金を換金し、またはポジションを手仕舞う際にファンドの勘定で負担する財務費用および販売手数料を反映した、適切な引当てと考える金額を差し引くことができる。

買戻代金は、関連する買戻日から5営業日以内に受益者に配布されることが一般的に予想される。

ファンドに留保された受益証券は、ファンドの満期日に強制的に買い戻され、買戻代金は買戻後5営業日以内に受益者に支払われる。

One-Day・プレミアムの当初申込期間において、以下の受益証券クラスが申込可能であった。

クラス	表示通貨	受益証券 1口当たり 当初発行価格	最低当初 申込額	最低継続申込額／ 最低保有額	最低 買戻単位
米ドルクラス 受益証券	米ドル	10米ドル	150,000米ドル	該当事項はない。	1口
米ドルクラス （毎月分配型） 受益証券	米ドル	10米ドル	150,000米ドル	該当事項はない。	1口
円ヘッジクラス 受益証券	日本円	1,000円	150,000,000円	該当事項はない。	1口
円ヘッジクラス （毎月分配型） 受益証券	日本円	1,000円	150,000,000円	該当事項はない。	1口

投資者によるクラスへの申込みは、当該クラスの表示通貨で行われなければならない。買戻代金もまた、関連するクラスの表示通貨で支払われる。

当初申込期間の終了後、ファンドの受益証券は、関連する申込日現在の受益証券1口当たり純資産価格（から費用・手数料を控除した金額）で申込可能である。購入申込みは、英文目論見書に記載の要件に従い申込締切時間までに提出されなければならない。決済資金は、関連する申込日から3営業日後の日までに送金されなければならない。

受益者は、要件に従い関連する買戻締切時間までに買戻請求を提出することにより、いずれかの買戻日に係る買戻請求を提出することができる。受益証券は、関連する買戻日における関連する受益証券クラスの受益証券1口当たり純資産価格で買い戻される。受益者に対して支払われるべき買戻代金の総額は、米ドルクラス受益証券および米ドルクラス（毎月分配型）受益証券の場合は0.01米ドル、円ヘッジクラス受益証券および円ヘッジクラス（毎月分配型）受益証券の場合は1円未満を切り捨てた金額とする。かかる端数処理による利益は、ファンドの勘定で留保される。受益証券1口の買戻価格を計算する目的において、受託会社および／または管理会社は、受益証券1口当たり純資産価格から、特定の買戻日における買戻請求を履行する資金を賄うために資金を換金し、またはポジションを手仕舞う際にファンドの勘定で負担する財務費用および販売手数料を反映した、適切な引当てと考える金額を差し引くことができる。

買戻代金は、関連する買戻日から5営業日以内に受益者に配布されることが一般的に予想される。

ファンドの残存する受益証券は、すべてファンドの満期日に強制的に買い戻され、買戻代金は買戻後5営業日以内に受益者に支払われる。

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）

	2026年6月30日		2025年12月31日	
	米ドル建て 受益証券	豪ドル建て 受益証券	米ドル建て 受益証券	豪ドル建て 受益証券
期首現在発行済受益証券数	8,553,400	1,088,073	9,087,799	1,122,963
受益証券の発行数	-	-	-	-
受益証券の買戻数	(691,561)	(78,302)	(534,399)	(34,890)
期末現在発行済受益証券数	7,861,839	1,009,771	8,553,400	1,088,073

One-Day・プレミアム

	2026年6月30日			
	米ドルクラス 受益証券	米ドルクラス (毎月分配型) 受益証券	円ヘッジクラス 受益証券	円ヘッジクラス (毎月分配型) 受益証券
期首現在発行済受益証券数	2,582,634	332,041	814,211	106,301
受益証券の発行数	1,002,394	346,114	7,771	545
受益証券の買戻数	(181,572)	(83,501)	(141,812)	(500)
期末現在発行済受益証券数	3,403,456	594,654	680,170	106,346

	2025年12月31日			
	米ドルクラス 受益証券	米ドルクラス (毎月分配型) 受益証券	円ヘッジクラス 受益証券	円ヘッジクラス (毎月分配型) 受益証券
期首現在発行済受益証券数	2,732,910	355,005	1,827,705	233,753
受益証券の発行数	747,160	191,484	-	1,922
受益証券の買戻数	(897,436)	(214,448)	(1,013,494)	(129,374)
期末現在発行済受益証券数	2,582,634	332,041	814,211	106,301

2026年6月30日現在のファンドの受益証券買戻未払金は、財政状態計算書に表示されており、DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）について55,924米ドル（2025年12月31日：58,461米ドル）、そしてOne-Day・プレミアムについては6,312米ドル（2025年12月31日：140,608米ドル）であった。

9. 分配方針

サブ・ファンドの分配方針は、管理会社によって随時決定され、関連する英文目論見書補遺に規定される。

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）の分配方針は、受益者に分配を行うことではなく、ファンドの純収益および実現キャピタル・ゲインのすべてを再投資することである。したがって、ファンドへの投資は、インカム・ゲインを求める投資者には適合していないことがある。

宣言から6年以内に請求されなかったファンドの受益証券について支払われた分配金は、没収され、ファンドの利益のために支払われる。いかなる分配金についても利子は支払われない。

One-Day・プレミアムは、米ドルクラス受益証券または円ヘッジクラス受益証券に関して、分配を宣言する意図はない。これらの受益証券クラスに関する分配可能利益は、ファンドの資産に留保され、当該受益証券の純資産価格に反映される。

ファンドは、米ドルクラス（毎月分配型）受益証券および円ヘッジクラス（毎月分配型）受益証券に関して、毎月、取締役が決定した金額の分配金を支払う予定である。これらの受益証券に関する分配は、毎月5

暦日（ただし、当該月の５暦日が営業日でない場合、５暦日の翌営業日）（以下「分配金宣言日」という。）に宣言され、支払われる。

2026年６月30日に終了した会計期間中、DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）に宣言された分配金は0米ドル（2025年６月30日：0米ドル）、One-Day・プレミアムの宣言された分配金は92,205米ドル（2025年６月30日：118,688米ドル）であった。

10. その他の費用

DMS償還時目標設定型ファンド2020－07（ゴールドマン・サックス社債投資型）

	2026年６月30日	2025年６月30日
	米ドル	米ドル
専門家報酬	—	12,061
サービス費	—	3,665
雑費	—	651
	—	16,377

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）

	2026年６月30日	2025年６月30日
	米ドル	米ドル
弁護士費用	360	—
サービス費	3,602	3,641
当座借越費用	321	—
雑費	12,308	36,362
	16,591	40,003

One-Day・プレミアム

	2026年６月30日	2025年６月30日
	米ドル	米ドル
登録費用	—	12,837
サービス費	2,034	2,156
当座借越費用	—	197
弁護士費用	13,343	—
雑費	11,899	6,932
	27,276	22,122

11. 公正価値の見積り

サブ・ファンドは、公正価値の測定に使用したインプットの重要性を反映する公正価値ヒエラルキーを用いて公正価値の測定を分類している。

FRS102のセクション2A.1「公正価値の開示」は、資産および負債に対する公正価値測定が分類される公正価値ヒエラルキーに関連する開示を求めている。かかる開示は、公正価値測定の評価技法に用いられるインプットに対する３つのレベルの公正価値ヒエラルキーに基づく。

金融資産および負債は、財政状態計算書において公正価値で測定される。公正価値測定は、３つのレベルのヒエラルキーに分類される。評価ヒエラルキーは、サブ・ファンドの各投資対象の評価に対するインプットの観察可能性および信頼性に基づく。有価証券の評価に用いられるインプットまたは技法は、必ずしも当該有価証券への投資に不随するリスクを示すものではない。

３つのレベルは、以下のとおりである。

レベル１－測定日においてサブ・ファンドがアクセス可能な、同一の資産または負債に関する活発な市場における無調整の公表価格

レベル１に分類される資産および負債のタイプは、一般的に、活発に取引される国内および特定の外国株式、特定の米国政府証券、国内の証券取引所で活発に取引される（いくつかの先物およびオプション等の）デリバティブおよび上場投資信託の受益証券（それらの投資が、レベル２またはレベル３のインプットを用いて評価される場合でも）を含む。

レベル２－レベル１に含まれる公表価格以外の、直接または間接的に観察可能な（例えば、市場価格を用いて算出された）、資産または負債に対するインプット

これらには、投資適格社債および一部の米国以外のソブリン債、上場株式、ミューチュアル・ファンド、株式連動債ならびに店頭デリバティブなどが含まれる。レベル２の投資対象には、活発な市場で取引されていない、および／または譲渡制限が課されているポジションが含まれるため、一般的に入手可能な市場情報に基づき、非流動性および／または譲渡不能性を反映して評価を調整することがある。

レベル３－資産または負債に対する観察不能な（例えば、市場価格が入手不能であるため）インプット

レベル３に分類される資産および負債のタイプは、一般的に、（アセットバック、モーゲージバック、ローンおよびソブリン債務等の）特定の債務証券、デリバティブ（ブローカーの公表価格を用いて評価された場合でも）、流動性またはその他の考慮事項による特定のディスカウントにより調整された特定の債務証券およびデリバティブ、特定のスプレッドによる調整がなされたソブリンにより発行された比較可能な有価証券を用いて評価された特定のソブリン債務証券、取引が停止されたか、または現在の主要な取引所において上場停止となり最新の入手可能な市場価格または公表価格で評価された有価証券、債務不履行または破産手続き中のため最新の入手可能な市場価格または公表価格で評価された現在の市場公表価格がない有価証券、破産手続きに関連した潜在的な訴訟による回収可能金額および利益、評価がファンドスポンサーより提供され、流動性ならびに情報入手のタイミングを考慮して調整される第三者投資信託および同一の発行体が関連する比較可能な有価証券の価格を用いて評価される特定の有価証券を含むが、それらに限定されない。

公正価値測定が分類される公正価値ヒエラルキーのレベルは、公正価値測定に重要である最下位レベルのインプットに基づいて全体として決定される。このために、インプットの重要性は、全体として公正価値測定に対して査定される。

公正価値測定が、観測できないインプットに基づく重要な調整を要求する観測可能なインプットを用いる場合、その測定は公正価値ヒエラルキーのレベル３に含まれると考えられる。全体として公正価値測定に対する特定のインプットの重要性を査定しながら、資産または負債に特有な要因を考える判断が求められる。

何が「観測可能」の構成要素となるかの重要な決定は、投資運用会社による判断を要求する。投資運用会社は、容易に入手可能であり、定期的に分配され更新され、信頼性があり検証可能であり、私有でなく、関連市場に積極的に関わる独立した情報源によって提供される市場データを観測可能なデータと考える。

以下の表は、2026年６月30日および2025年12月31日現在の公正価値で測定された、サブ・ファンドの金融資産の公正価値ヒエラルキーの分析を提供している。

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）

2026年６月30日 資産	レベル１ 米ドル	レベル２ 米ドル	レベル３ 米ドル	合計 米ドル
パフォーマンス・リンク債	—	—	70,417,695	70,417,695
合計	—	—	70,417,695	70,417,695
2025年12月31日 資産	レベル１ 米ドル	レベル２ 米ドル	レベル３ 米ドル	合計 米ドル
パフォーマンス・リンク債	—	—	76,385,989	76,385,989
合計	—	—	76,385,989	76,385,989

One-Day・プレミアム

2026年6月30日 資産	レベル1 米ドル	レベル2 米ドル	レベル3 米ドル	合計 米ドル
トータル・リターン・バスケット・スワップ	—	50,400,677	—	50,400,677
先渡為替契約	—	1,164	—	1,164
合計	—	50,401,841	—	50,401,841

負債

先渡為替契約	—	77,774	—	77,774
合計	—	77,774	—	77,774

2025年12月31日 資産	レベル1 米ドル	レベル2 米ドル	レベル3 米ドル	合計 米ドル
トータル・リターン・バスケット・スワップ	—	38,139,058	—	38,139,058
先渡為替契約	—	217	—	217
合計	—	38,139,275	—	38,139,275

負債

先渡為替契約	—	7,544	—	7,544
合計	—	7,544	—	7,544

公正価値で測定されないサブ・ファンドの資産および負債には、現金、短期債権債務ならびに買戻可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産が含まれる。それぞれの残高は、その公正価値の合理的な近似値を反映した価値で計上される。FRS102の要件に従い、現金残高はレベル1に、その他のすべての資産および負債はレベル2に分類される。

レベルの転換は、報告期間末日に認識される。2026年6月30日または2025年12月31日に終了した会計期間において、レベル3への重要な転換はなかった。

以下の表は、公正価値ヒエラルキーのレベル3の金融資産の公正価値測定に関する期首残高から期末残高への調整を示している。

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）

	レベル3 2026年6月30日 米ドル	レベル3 2025年12月31日 米ドル
期首残高	76,385,989	74,537,110
当期中の売却	(6,320,191)	(4,872,070)
投資有価証券に係る実現（損失）	(1,164,109)	(1,125,166)
損益を通じて公正価値で測定する投資有価証券に係る未実現評価益の純変動	1,516,006	7,846,115
期末残高	70,417,695	76,385,989

2026年6月30日現在、評価見積の変動により公正価値が5%増減した場合、ファンドに帰属する純資産におおよそ3,520,885米ドル（2025年12月31日：3,819,299米ドル）の影響を与えることになる。

12. 為替レート

以下の為替レートは、期末の米ドル以外の通貨建て資産および負債を換算するために使用されている。

	2026年6月30日現在	2025年12月31日現在
豪ドル	1.4434	1.4924
ユーロ	0.8747	0.8504
日本円	162.5250	156.3350

13. 利害関係者間取引

管理会社の取締役は、当財務書類上で開示されている以外に、2026年6月30日に終了した会計期間および2025年12月31日に終了した会計年度に利害関係者とのいかなる取引も認識していない。AIFM（ウェイストーン・マネジメント・カンパニー（IE）リミテッド）、投資運用会社（ウェイストーン・インベストメント・マネジメント（IE）リミテッド）および代行協会員（ゴールドマン・サックス証券株式会社）は、FRS102「利害関係者の開示」に従ってサブ・ファンドの利害関係者とみなされる。

キース・ヘイズリー氏およびアンドリュー・キーオ氏は、管理会社の取締役であり、ウェイストーン・マネジメント・カンパニー（IE）リミテッドの従業員でもある。

サラ・ウォレス氏、アンドレア・オマーン氏およびジェームズ・アリス氏は、管理会社の取締役であり、ウェイストーン・グループの従業員でもある。

すべての関連当事者は、独立した立場で取引を行っている。

当期中に利害関係者に生じた報酬は、包括利益計算書において開示されている。当期の利害関係者への未払金額は、注記5において開示されている。

14. 関連当事者

プロモーター、パートナー、管理会社、預託機関、投資運用会社および／またはこれらの関連会社もしくはグループ会社（以下「関連当事者」とう。）との間で行われる取引は、独立した立場で行われ、受益者の最善の利益となる場合にのみ行われる。

管理会社は、関連当事者取引が上記のとおり実施されることを保証するため、書面による手続きによって証明された取決めが存在すること、および当期間中にそれが遵守されていたことに満足している。

15. ポートフォリオ持高の変動明細表

当期中のポートフォリオ持高の変動明細表は本書に記載されていないが、詳細はウェイストーン・マネジメント・カンパニー（IE）リミテッドから無料で入手できる。

16. 純資産価額

買戻可能参加型受益証券の1口当たり純資産価格は、サブ・ファンドの純資産総額（価格決定目的で計算される。）を発行済買戻可能参加型受益証券数で除すことにより計算される。財政状態計算書で報告される買戻可能参加型受益証券の1口当たり純資産価格は、財務書類目的で使用される。

財務書類の目的上、サブ・ファンドの専門的アドバイザーに支払われる報酬を含むすべての設立費用は、FRS102に従って当該費用が発生した会計年度に費用計上される。設立費用は、包括利益計算書に費用計上された。

以下の表は、財務書類上と受益者の取引上の純資産価額の調整を表している。

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）

	2026年6月30日現在 米ドル	2025年12月31日現在 米ドル
財務書類上の純資産価額	69,664,599	75,596,018
加算：償却された追加の設立費用累積額	—	—
受益者の取引上の純資産価額	69,664,599	75,596,018

One-Day・プレミアム

	2026年6月30日現在 米ドル	2025年12月31日現在 米ドル
財務書類上の純資産価額	50,320,712	38,131,219
加算：償却された追加の設立費用累積額	14,079	60,139
受益者の取引上の純資産価額	50,334,791	38,191,358

17. 期中の重要な事象

中東地域を含む地政学的緊張は、主としてエネルギー価格、インフレおよび金利への影響を通じて、市場の変動性を高める要因となっている。現在、敵対行為の停止について合意がなされている。報告日現在、これらの状況はシステミック・リスクを生じさせるものではなく、サブ・ファンドの財政状態に重要な影響を与えていないと判断しているが、経営陣は引き続き関連動向を監視している。

2026年6月30日に終了した会計期間中、その他の重要な事象は発生しなかった。

18. 期末後の重要な事象

2026年6月30日以降、財務書類の開示を要求する重要な事象は発生しなかった。

19. 財務書類の承認

管理会社の取締役は、2026年8月25日に当財務書類を承認した。

（２）【投資有価証券明細表等】

ブリオングロード・ブリッジ・ユニット・トラスト
投資有価証券明細表
2026年６月30日現在

DMS償還時目標設定型ファンド2103（ゴールドマン・サックス社債投資型）

数量	証券銘柄	公正価値 米ドル	純資産に 占める割合％
	パフォーマンス・リンク債 (2025年12月31日：101.04%) ケイマン諸島		
80,132,740	ルミニスⅡ・リミテッド、米ドルクラス	64,715,200	92.90
10,448,190	ルミニスⅡ・リミテッド、豪ドルクラス	5,702,495	8.18
	投資合計	70,417,695	101.08
	その他の資産および負債	(753,096)	(1.08)
	受益者に帰属する純資産	69,664,599	100.00

4【管理会社の概況】

（１）【資本金の額】（2026年6月末日現在）

資本金の額 4,490,006ユーロ（約8億3,222万円）

発行済株式総数 普通株式4,490,006株

管理会社が発行する株式総数の上限については制限がありません。

ただし、上記資本金の増減については、定款の規定に基づく株主の決議を要します。

（注）ユーロの円貨換算は、便宜上、2026年6月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1ユーロ＝185.35円）によります。

（２）【事業の内容及び営業の状況】

ウェイストーンは、金融機関および資産運用会社に、自信を持ってグローバルに投資目標を追求するために必要なガイダンスとツールを提供しています。ウェイストーンは、ヨーロッパ、アジア、中東、米国、カナダ、ケイマン諸島、およびバミューダに広がる世界的なオフィスネットワークから業務を提供しています。顧客層には、グローバルな金融機関、主要な地域金融機関、および主要な国際的な投資運用会社のほか、保険会社も含まれます。ウェイストーンのクライアントは、複数の法域にわたって、ロングオンリー・ファンド、流動性代替資産、プライベート・マーケット、不動産ファンドなど多様な流動性を有した事業を展開しています。クライアントの大多数は、確立された実績を有する大手企業であり、以下に概要を示すウェイストーンのグローバルな製品ポートフォリオから多様なソリューションを活用しています。

欧州ファンド・ソリューション - オルタナティブ投資ファンド運用者（AIFM）のすべての業務、UCITSの管理会社業務、および公認取締役（ACD）の業務、さらに販売、コーポレート・サービス、取引執行、およびファンド管理事務業務を提供しています。

ケイマン・ソリューション - 経験豊富で資格を有する独立したファンド取締役、取締役会支援およびコーポレート・サービス、ならびに自動情報交換（AEOI）およびケイマンのAMLコンプライアンス・サービスを提供しています。

コーポレート・サービス - コーポレート・サービス・チームは、ストラクチャード・ファイナンスおよび資本市場サービス、航空取引サービスおよびローン管理サービスなど、世界中の特別目的事業体（SPV）に最高水準の運営および管理ソリューションを提供しています。

コンプライアンス・ソリューション - 100人以上のコンプライアンス専門家が、登録およびライセンス取得、サイバーおよびデータ保護に関するアドバイス、コンプライアンス・プログラム、ならびにコンプライアンスの外部委託およびトレーニングを顧客に提供しています。

ファンド管理事務ソリューション - ウェイストーン・グループ企業であるセントール・ファンド・サービスズは、ヘッジファンド、ファンド・オブ・ファンズ、プライベートエクイティ・ファンド、不動産ファンド、ファミリーオフィス、および世界中の機関投資家向けに、独立したファンド管理事務および受託者サービスを提供しています。経験豊富なチーム、契約条件、および業務上の卓越性がその成功の基盤であり、セントールはこれまで顧客を失っていません。

ETFソリューション - ETFホスティング、資本市場、販売、商品設定、投資運用に加え、オペレーションおよびコンプライアンス・サービスも提供しています。

2026年6月末日現在で、管理会社が管理および運用するファンドは以下のとおりです。

国別（設立国）	純資産の合計
ヨーロッパ（EU）	211,222,259,630ユーロ
EU非加盟国	8,035,472,106ユーロ
合計	219,257,731,736ユーロ

種類別（基本的性格）	サブ・ファンドの本数
AIF	334
UCITS	450
合計	784

（３）【その他】

本書提出前６か月以内において、訴訟事件その他管理会社に重要な影響を与えた事実、または与えることが予想される事実はありません。

5【管理会社の経理の概況】

- a. 管理会社の日本文の中間財務書類は、管理会社が作成した原文の中間財務書類を翻訳したものです。これは「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第328条第5項ただし書の規定の適用によるものです。
- b. 管理会社の中間財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいいます。）の監査を受けておりません。
- c. 管理会社の原文の中間財務書類はユーロで表示されています。日本文の中間財務書類には、主要な金額について円貨換算が併記されています。日本円による金額は、2026年6月30日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1ユーロ＝185.35円）で換算されています。なお、千円未満の金額は四捨五入されています。

（１）【資産及び負債の状況】

ウェイストーン・マネジメント・カンパニー（IE）リミテッド

財政状態計算書

2026年6月30日現在

	注記	2026年6月30日現在		2025年12月31日現在	
		ユーロ	千円	ユーロ	千円
資産					
流動資産					
現金および現金同等物	3	41,714,114	7,731,711	39,570,385	7,334,371
売掛金およびその他の債権	4	25,385,876	4,705,272	26,466,254	4,905,520
貸付金および借入金	5	30,924,774	5,731,907	30,392,899	5,633,324
流動資産合計		98,024,764	18,168,890	96,429,538	17,873,215
非流動資産					
有形固定資産	6	20,196	3,743	30,403	5,635
無形資産	7	197,109	36,534	300,154	55,634
のれん	7	2,825,153	523,642	2,825,153	523,642
非流動資産合計		3,042,457	563,919	3,155,710	584,911
資産合計		101,067,221	18,732,809	99,585,248	18,458,126
資本および負債					
資本					
株式資本		4,490,006	832,223	4,490,006	832,223
資本剰余金		17,918,369	3,321,170	17,918,369	3,321,170
出資金		3,600,000	667,260	3,600,000	667,260
利益剰余金		58,280,889	10,802,363	47,802,513	8,860,196
資本合計		84,289,264	15,623,015	73,810,888	13,680,848
流動負債					
買掛金およびその他の債務	8	16,777,958	3,109,795	25,774,360	4,777,278
流動負債合計		16,777,958	3,109,795	25,774,360	4,777,278
資本および負債合計		101,067,221	18,732,809	99,585,248	18,458,126

（２）【損益の状況】

ウェイトーン・マネジメント・カンパニー（IE）リミテッド

損益およびその他の包括利益計算書

2026年６月30日に終了した半年間

	2026年６月30日 に終了した半年間		2025年12月31日 に終了した年度	
	ユーロ	千円	ユーロ	千円
収益	41,056,795	7,609,877	85,864,857	15,915,051
売上原価	(13,576,471)	(2,516,399)	(28,047,530)	(5,198,610)
売上総利益	27,480,324	5,093,478	57,817,327	10,716,442
一般管理費	(18,367,738)	(3,404,460)	(43,417,786)	(8,047,487)
営業利益	9,112,585	1,689,018	14,399,541	2,668,955
金融収益	859,138	159,241	872,165	161,656
その他の収益	948,854	175,870	2,057,793	381,412
税引前利益	10,920,577	2,024,129	17,329,499	3,212,023
所得税	(442,196)	(81,961)	(1,343,954)	(249,102)
当期利益	10,478,381	1,942,168	15,985,545	2,962,921

[次へ](#)

ウェイストーン・マネジメント・カンパニー（IE）リミテッド

財務書類に対する注記

2026年6月30日に終了した半年間

1. 一般情報

ウェイストーン・マネジメント・カンパニー（IE）リミテッド（以下「当社」という。）は、アイルランドに設立され、同国を本拠地とする株式会社（登録番号516113）である。当社はアイルランドに納税義務を有し、アイルランド、ダブリン4、ボールズブリッジ、シェルボーン・ロード35（郵便番号D04 A4E0）に登録されている。

2. 作成の基礎

財務書類は、内部報告および規制報告の目的で作成されている。これらは監査を受けておらず、直近の監査済財務書類と整合性のある会計方針に基づいている。当財務書類は、当社の機能通貨および表示通貨であるユーロで表示されている。

取締役は、当社の継続企業の前提に重大な疑義を生じさせる可能性のある重要な不確実性を認識していない。したがって、財務書類は継続企業の前提に基づいて作成されている。

3. 現金および現金同等物

	2026年6月30日 ユーロ	2025年12月31日 ユーロ
銀行預金	28,332,102	26,314,891
現金同等物	13,382,012	13,255,494
	<u>41,714,114</u>	<u>39,570,385</u>

4. 売掛金およびその他の債権

	2026年6月30日 ユーロ	2025年12月31日 ユーロ
売掛金	9,582,168	7,223,975
グループ会社からの未収金	1,187,990	2,581,672
その他の債権	-	905,610
未収法人税	1,050,332	1,144,925
未収付加価値税	2,417,919	2,174,310
未収収益	10,984,168	12,239,173
前払金	163,300	196,589
	<u>25,385,876</u>	<u>26,466,254</u>

5. 貸付金および借入金

当社の貸付金および借入金は以下で構成されている：

	2026年6月30日 ユーロ	2025年12月31日 ユーロ
会社間貸付金	30,924,774	30,392,899
	<u>30,924,774</u>	<u>30,392,899</u>

貸付金は年利3.5%が適用され、無担保かつ要求払いとする。

6. 有形資産

	2026年6月30日 ユーロ	2025年12月31日 ユーロ
コンピューターハードウェア	20,196	52,164
	<u>20,196</u>	<u>52,164</u>

7. 無形資産およびのれん

	2026年6月30日 ユーロ	2025年12月31日 ユーロ
投資のれん	2,825,153	2,825,153
ソフトウェア	38,100	47,091
繰延契約費用	159,008	253,063
	<u>3,022,261</u>	<u>3,125,307</u>

8. 買掛金およびその他の債務

	2026年6月30日 ユーロ	2025年12月31日 ユーロ
買掛金	291,566	1,039,088
グループ会社に対する債務	1,779,242	10,670,422
その他の債務	3,933,815	4,551,320
社会保障税およびその他の税金	818,661	394,116
未払費用	8,987,381	9,119,414
繰延収益	967,292	-
	<u>16,777,958</u>	<u>25,774,360</u>

9. 偶発債務

2024年8月、契約上の相手方から当社に対し訴訟が提起された。ウェイストーン・マネジメント・カンパニー（IE）リミテッドは、本訴訟に対し完全かつ強固な抗弁を提出しており、経済的資源の流出が生じる可能性は低いと考えている。財務書類の承認日現在、いかなる債務の可能性（もしあれば）も不確実であり、十分な信頼性をもって測定することはできない。さらに、この偶発債務の結果として生じる金額は、適用される保険の補償額によって減額される。

10. 後発事象

財務書類の作成にあたり、取締役は、2026年8月25日までのすべての重要な後発事象を評価し、財務書類において認識または開示を必要とするいかなる後発事象も認識していない。

11. 承認日

財務書類は2026年8月25日付けの取締役会で承認された。

[次へ](#)

ファンドは、受託会社および管理会社（以下それぞれ「使用権者」といいます。）またはその関連会社により運用されており、それらの者の商品です。「ゴールドマン・サックス」は、Goldman Sachs & Co. LLC.（以下「使用許諾者」といいます。）の日本およびその他の国において登録された商標です。使用許諾者の商標は、使用許諾者の使用許諾により使用されています。

使用許諾者およびその関連会社（以下「GS」といいます。）は、使用権者またはその関係もしくは関連する会社もしくはファンドを含みますがこれに限られない金融商品、投資信託もしくは指数と、（代行協会員として委託された事務を除き）何らの関係、関与または関連がありません。GSは、ファンドの設立または販売に責任を負わず、また参加していません。GSおよびその使用許諾者は、有価証券一般もしくはファンドへの投資またはファンドが市場一般もしくは指数実績を追跡する能力の有無もしくは投資リターンを提供する能力の有無に関して、ファンドの保有者または公衆に対し、明示的か黙示的かを問わず、いかなる表明または保証も行いません。使用許諾者と使用権者の関係は、ファンドに関する使用許諾者の商標の使用許諾に限られます。

GSは、ファンドの価格または金額、ファンドの発行または販売の時期、ファンドを現金化し、引き渡しまたは償還する（場合によります。）ための等式の決定または計算に、責任を負わず、また関与していません。使用許諾者は、ファンドの管理事務、マーケティングまたは取引に関して義務および責任を負いません。投資商品が、正確に指数実績を追跡すること、または投資リターンを提供することについて、保証はありません。使用許諾者は投資助言者ではなく、そのため、いかなる有価証券についても購入、売却または保有の推奨を行わず、また投資助言も行っていない。GSは、ファンドを支持し、承認し、スポンサーとなり、または販売促進することではなく、ファンドまたは他の金融商品および使用権者もしくはその関連会社のファンドに投資することを推奨することを行いません。